

## <目指せ！1等米比率90%以上継続！>～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

本年の幼穂形成期は、4/22 播種のほ場で近年より4日早い7/12となりました。  
 平年に比べて草丈はやや長く、茎数は少なく、葉色は並みとなっています。  
 今後、平年並みの気象で経過した場合、出穂期は、8月2日頃と見込まれます。登熟期間の稲体活力維持のため、生育ステージにあわせた水管理の徹底と、適期防除に努めましょう。

表1 直播コシヒカリ(カルパー)の生育状況(7月12日現在) ※近年値はH29～R3

	播種日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉齢	葉色	幼穂形成期	出穂期 (見込み)
R4	4/22	79.4	481	11.0	3.9	7/12	8/2 頃
R3	4/30	69.6	580	11.6	4.1	7/17	8/6
近年値	4/30	74.3	556	11.2	4.0	7/16	8/6

### 1 今後の水管理

今後も**気温が高い**と見込まれるため、**水管理に注意しましょう！！**

#### 【幼穂形成期以降】

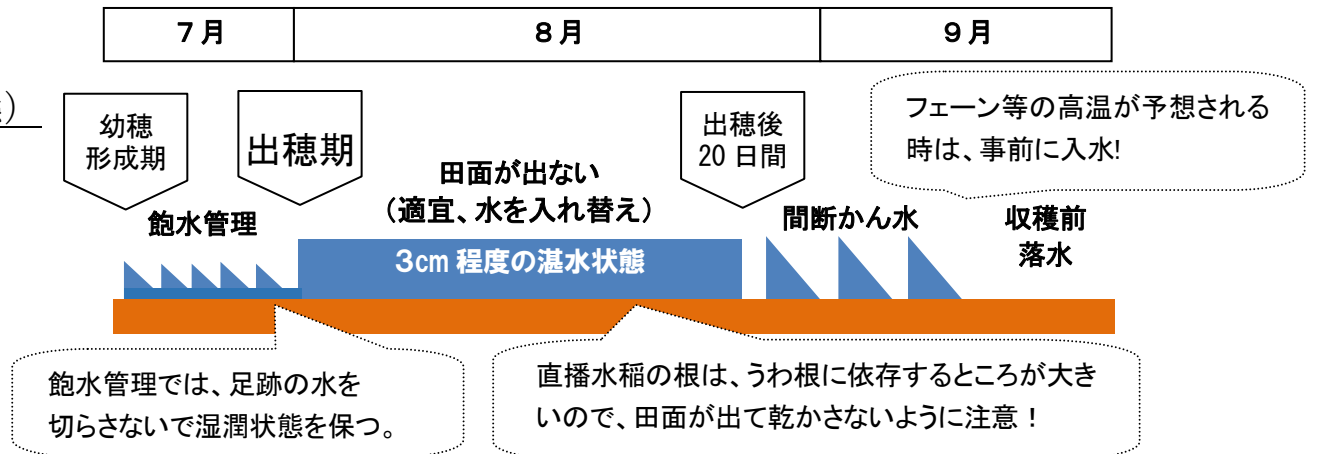
・**飽水管理** (田面に常に水がある状態)

#### 【出穂期から20日間】

・常時水が溜まっている「**湛水管理**」

#### 【収穫の5～7日前まで】

・落水を急がず「**間断かん水**」



### 2 出穂前の葉色確認・追加穂肥

・原則追加穂肥は不要ですが、出穂7～10日前頃に葉色の確認を行い、葉色4.0(砂壤土では4.2)を下回る場合は、出穂3日前(走り穂が出る頃)までに追肥3号で7kg/10aを施用し、穂揃期の葉色を4.2～4.5(砂壤土は4.5)へ誘導しましょう。

### 3 病害虫防除

**注意**

**今年も斑点米カメムシ類が多発生!**

雑草地カメムシ密度調査(6/28)

- ・発生地点率 100%(平年値:91%)
- ・1地点あたりすくい取り頭数 11.4 頭 (平年値:8.2 頭)

- ・本田防除は、**穂揃期(8/5～7頃)**と**傾穂期(8/12～14頃)**の基本防除を徹底しましょう(表2)。
- ・カメムシ類の防除効果を高めるため、**散布間隔は7日間を目安**とし、10日以上あけないようにしましょう。
- ・やむを得ず畦畔にある穂の出ているイネ科雑草を刈る場合は、**本田薬剤防除の直前に行い**、防除の際には、**畦畔を含む水田全体に薬剤を散布**しましょう。

表2 防除時期の目安

防除体系	防除時期	農薬名	対象病害虫	10a 当たり散布量
粉剤	穂揃期	ラブサイドキラップ粉剤 DL	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	4kg
	傾穂期	スタークル粉剤DL	カメムシ類、ウンカ類	3kg
液剤	穂揃期	ラブサイドキラップフロアブル	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	薬剤 200 ml、水 100ℓ 500 倍
	傾穂期	スタークルメイト液剤 10	カメムシ類、ウンカ類	薬剤100 ml、水 100ℓ 1000 倍
微粒剤	穂揃期	ビームスタークル微粒剤F	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	3kg
	傾穂期	キラップ微粒剤F	カメムシ類、ウンカ類	3kg
粒剤	出穂 10 日前	フジワンラップ粒剤	いもち病、カメムシ類、ウンカ類	4kg

※防除に当たっては、必ずラベルを確認し、農薬使用基準を守りましょう。

※農薬の散布は、使用基準を必ず守り、風速・風向きに注意し、周辺への飛散防止に努めましょう。

**令和4年度 富山県農薬危害防止運動(6/15～9/14) ～農薬は周りに配慮し正しく使用～**

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています  
 ★<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/>で検索!

富山市農協 営農情報

**農作業の際は、適切な水分・塩分補給やこまめな休憩など、熱中症対策を徹底しましょう!**